

## 明德会の防犯及び危機管理について

平成28年7月26日未明、神奈川県相模原市の障害者支援施設で発生した事件では、多くの利用者の方が亡くなられ、また負傷されましたことに心よりお悔やみを申し上げます。負傷されました方々の一刻も早い回復と、ご利用者、施設関係者の方々が一日でも早く平穏な生活に戻れますよう願っております。

同じ障害者支援施設として、ご利用者様やご家族のご心配も計り知れないと思います。

本日、監督行政からリスクマネジメントの強化、防犯体制、事故発生時の対応能力の向上などの通知がございました。

明德会では緊急会議を行い、①各施設の正門裏門の日常的な閉門（別紙参照）、②来園者・不審者の対応マニュアルの見直し、③所轄交番である川上交番への情報提供やパトロール要請、④警察官立寄所ステッカー貼り付け、⑤警備会社への警備強化の要請等、今すぐ出来る対応策を講じたところです。

これまでも、台風や寒波、熊本地震等の災害対応、火災避難訓練などその都度危機管理や安全確保の点検をしてまいりましたが、防犯についても、今回を機に再点検を行い対応の強化を図ってまいりたいと考えます。ハード面と人的能力の向上で安心・安全な施設づくりに努めて参ります。

平成28年7月27日

社会福祉法人 明德会  
理事長 樺嶋潤一郎



現在の明德会のセキュリティーについてお知らせをしておきます。（裏面）

## 社会福祉法人明徳会 各施設のセキュリティー（ハード面）について

- チャレンジめいとくの里（鉄筋コンクリート平屋）
  - ・ 防犯危機管理カメラ（一部は可動式）  
施設内14カ所 施設外2カ所 24時間録画  
大型スクリーンモニター2カ所で監視
  - ・ 赤外線センサー 施設敷地外周一周（センサー作動時間は公表できません）
  - ・ 防犯警備会社委託 セコム
  - ・ 防犯非常用ボタン（携帯タイプ）
  - ・ 消防署直通自動火災通報装置一式（消火栓、煙探知、非常用自家発電含む）
  - ・ スプリンクラー
  - ・ 緊急車両が建物のどの場所でも横付けできるように設計されています。
  
- ケア・ハピネス（鉄筋コンクリート平屋）
  - ・ 防犯危機管理カメラ（一部は可動式）  
施設内5カ所 施設外2カ所 24時間録画 モニター2カ所で監視
  - ・ 防犯警備会社委託 夜間センサー及びカメラ遠隔警備 セコム
  - ・ 消防署直通自動火災通報装置一式（煙探知含む）
  - ・ スプリンクラー
  - ・ 緊急車両が建物のどの場所でも横付けできるように設計されています。
  
- ゆめくらし事業所 オレンジハウス（鉄筋コンクリート平屋）
  - ・ 防犯危機管理カメラ（一部は可動式）  
施設内9カ所 施設外1カ所 24時間録画  
モニター2カ所で監視  
内1カ所は本体施設大型スクリーンモニターで遠隔監視
  - ・ 防犯警備会社委託 アルソック
  - ・ 防犯非常用ボタン（携帯タイプ）
  - ・ 消防署直通自動火災通報装置一式（煙探知含む）
  - ・ スプリンクラー
  - ・ 緊急車両が建物のどの場所でも横付けできるように設計されています。

## チャレンジめいとくの里、ケア・ハピネス、オレンジハウスの 正門及び裏門の日常的な閉門について

明徳会では、開所以来地域に開かれたオープンな施設創りの一環として門は日常的に開けておくことを続けてきました。知的障がい者施設において日常的に門を開けておくことが、どれだけ大変で勇気のいることなのかこの10年間で思い知らされました。それはリスクとの戦いでもあり、また地元住民の方のご理解に甘えさせてもらいながら続けてこれたという現実もあります。

リスクマネジメントを考える上で、最も優先しなければいけないことは心身の安全と人権であると思います。しかしながら今般、施設の状況も10年前とは様々な要因で変化し、門を日常的に開けておくことでこの最優先しなければいけないことの一つである心身の安全が、危ぶまれる事例が見受けられるようになってきました。具体的にはご利用者様の飛び出しや無断外出等で直ぐに対処して事なきを得ていますが、一步間違えば、それをきっかけに交通事故や真冬真夏の遭難、近隣の農家などで農薬の誤飲、川や用水路等への転落、軽度の方は全国範囲の捜索など、どれも命に係わることとなります。また、神奈川県相模原市の施設で起きた事件など不法侵入者へ対する対応も近年真剣に考えなければならなくなっています。こうしたリスクを支援力でカバーする事の難しさに直面しています。

**「明徳会のすべての施設で、平成28年8月1日より日常的に門は閉めることとします。」**

門を閉めておくことで絶対に安全ではありませんが、意識付けになり抑止力になればと考えます。明徳会では鍵やドアの開閉については人権擁護の観点から細心の注意を払っております。今回の日常的な閉門についても同様に、ご利用者様を閉じ込めているのではなく、安全に守り自由は担保されなければいけません。また、明徳会の理念である安心・安全・安らぎの福祉社会創造にチャレンジ！を見据え、理想とは何かをこれからも常に考え続けていきたいと思えます。

明徳会に関係するすべての方々に、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年7月27日

社会福祉法人明徳会  
理事長 樺嶋潤一郎